

日本健康心理学会メールマガジン No.16



2013年11月21日 第16号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.12 桜美林大学 鈴木 平先生

1) 学会からのお知らせ

■研究推進委員会より

2013年度の助成対象となる研究部会が決定しました

- ・メンタルヘルス・プロモーション研究部会（継続）100,000円
- ・認知行動療法に基づく自殺予防研究会（継続）100,000円
- ・児童虐待防止研究部会（継続）100,000円
- ・禁煙研究部会研究集会（継続）100,000円
- ・子どもと大人の発達支援研究集会（新規）100,000円

■研修委員会より

12月7日（土）第87回「働く人のための労働衛生～疲労研究から学ぶ」・ストレス、睡眠に次ぐ外来は「疲労」

12月8日（日）第88回「禁煙外来での健康心理士の役割」
・終了後、禁煙科学会認定禁煙支援士試験が無料で受けられます！

研修申し込みはこちら > <http://jahp.wdc-jp.com/kensyu/kensyu2.html>

■認定日本健康心理士会より

健康心理士資格をおもちの皆様、新生健康心理士会に入会しましょう。そして心理師国家資格化に向けて互いに切磋琢磨しましょう。

- ・アンケートへの回答は11月30日までに！

■学会HP更新情報（11月13日現在、上記と重複する記事は除く）

TOPページ

- ・2014年度パブリックヘルス科学研究助成金のご案内（10月30日）
<http://jahp.wdc-jp.com/job/job.html>

- ・CDISC標準入門セミナーのご案内（11月1日）
<http://jahp.wdc-jp.com/pdf/20131101.pdf>

国際委員会

第5回AAICP (Asian Association of Indigenous and Cultural Psychology)

大会のご案内（10月25日）

<http://jahp-international.blogspot.jp/>

2) 健康心理学コラムvol.13

カオス・複雑系と健康

（桜美林大学心理・教育学系 鈴木 平 先生）

1990年代半ばころからでしょうか。

「ゆらぎ」や「カオス」、あるいは「複雑系」などの研究に注目が集まりました。カオスという言葉は一般には混沌を意味しますが、学術用語としてのカオスは全く意味が異なります。

大雑把に言いますと、「決定論的な方程式であるにもかかわらず、式の非線形性のために将来予測が困難になるような複雑な振る舞いを示す」ということになるでしょうか。

カオスの研究は、近代自然科学に代表される要素還元主義的な志向性とは異なる科学として各分野で注目されるようになりました。カオスは自然界の様々な現象で観察されるだけでなく、生物・生理学的現象や社会・経済現象などでも沢山観察されています。

人間に関することでは、生理学的現象に限らず、認知機能、感情や情動、行動などの心理学的現象でもカオスが沢山観察されています。また、これらのカオス現象が心身の健康や適応、コミュニケーションなどの問題とも関係することが明らかにされています。

従来までの健康観は「ホメオスタシスに代表される静的で安定的な（健康）状態」とでも言うべきイメージで語られるかと思いますが、カオス・複雑系の研究では、「動きや変化の中にあらわれるダイナミックな健康」という視点が大事になります。換言しますと、変化の中の動的秩序こそが健康の大事な要素ではないかということです。この動的な秩序がどのように維持・形成され、心身の健康にかかわっているか注目したいと思います。

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。

日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。
広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>